



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東
 コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 中村 謙一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 門田 康（TEL）03-5312-8704
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	63,189	7.0	12,525	0.9	13,044	1.0	8,827	△32.6
2023年3月期第2四半期	59,074	8.7	12,408	34.3	12,910	32.4	13,100	100.7
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第2四半期	57.75		55.38					
2023年3月期第2四半期	85.67		82.12					

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	322,427	74,548	73,105	22.7
2023年3月期	322,691	69,819	68,615	21.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	135,000	9.1	27,700	21.8	29,000	12.1	19,000	△9.0
								124.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	153,016,200株	2023年3月期	153,016,200株
2024年3月期2Q	161,632株	2023年3月期	161,732株
2024年3月期2Q	152,852,600株	2023年3月期2Q	152,920,467株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(子会社の売却)	14
(非継続事業)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換をサポートすること」という使命のもと、「世界規模で展開する『生活総合支援サービス』の創出」、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「新第三次オリンピック作戦」においては、国内市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りにも挑んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業における管理戸数や福利厚生事業における会員数などのストック基盤が積み上がり、売上収益、営業利益、税引前四半期利益が前年同期を上回りました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益が大幅な減益となっておりますが、こちらは前年同期に非継続事業の損益として約49億円を計上したことが要因です。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上収益	631億89百万円	(前年同期比	7.0%増)
営業利益	125億25百万円	(前年同期比	0.9%増)
税引前四半期利益	130億44百万円	(前年同期比	1.0%増)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	88億27百万円	(前年同期比	32.6%減)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① リロケーション事業

当事業は、借上社宅管理事業、賃貸管理事業、海外赴任支援事業で構成され、国内外で日本企業の人の移動を総合的にサポートしております。借上社宅管理事業においては、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援、留守宅管理等を手掛け、賃貸管理事業においては、賃貸不動産の管理や仲介をはじめとしたサービスを展開しております。また、海外赴任支援事業においては日本企業を支援すべく、北米をはじめとした現地において、赴任前から帰任に至るまで、海外赴任サポート等のサービスを総合的に展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業における管理戸数が増加したことに加え、賃貸管理事業では前第3四半期連結会計期間において新たな賃貸管理事業会社がグループ入りしたことなどにより増収となりました。一方で、賃貸管理事業では前年同期に大型の物件売却があったことに加え、海外赴任支援事業ではインバウンド支援世帯数が減少したことなどから減益となりました。

これらの結果、売上収益437億56百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益77億27百万円（同1.7%減）となりました。

② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し、様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第2四半期連結累計期間は、福利厚生代行サービスにおける会費収入が増加したほか、サービスの利用回復に伴い、利用関連収入が伸びました。加えて、住まいの駆け付けサービスが好調に推移したことから、増収増益となりました。

これらの結果、売上収益122億14百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益55億30百万円（同16.6%増）となりました。

③ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、ホテル運営事業の平均客室単価が上昇したほか、第1四半期連結会計期間に複数の新規施設をオープンしたことなどから増収となりました。一方で、前第1四半期連結会計期間には大型物件の売却があったことから減益となりました。

これらの結果、売上収益67億17百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益11億77百万円（同24.2%減）となりました。

④ その他

当事業は、主力事業の基盤を活かし金融関連事業等を展開しており、売上収益5億円（前年同期比0.8%増）、営業損失1億16百万円（前年同期は81百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して2億63百万円減少し、3,224億27百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比して49億92百万円減少し、2,478億79百万円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末に比して47億29百万円増加し、745億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2023年5月11日に発表した「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	43,695	40,445
営業債権及びその他の債権	85,197	82,434
棚卸資産	6,410	6,633
その他の金融資産	7,991	8,067
その他の流動資産	4,004	3,848
流動資産合計	147,298	141,429
非流動資産		
有形固定資産	14,240	14,592
使用権資産	29,632	29,998
のれん	15,795	16,165
無形資産	8,429	8,551
投資不動産	21,529	23,190
持分法で会計処理されている投資	39,889	40,262
その他の金融資産	33,244	35,591
繰延税金資産	11,707	11,610
その他の非流動資産	922	1,033
非流動資産合計	175,392	180,997
資産合計	322,691	322,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,765	20,630
社債及び借入金	29,808	31,205
リース負債	52,520	54,413
未払法人所得税	6,265	3,792
契約負債	8,785	7,245
その他の金融負債	17,261	18,287
引当金	334	—
その他の流動負債	4,956	3,843
流動負債合計	140,696	139,418
非流動負債		
社債及び借入金	51,963	47,417
リース負債	22,087	22,356
契約負債	18,979	19,560
その他の金融負債	8,779	8,935
引当金	7,843	8,106
繰延税金負債	1,827	1,359
その他の非流動負債	694	724
非流動負債合計	112,175	108,460
負債合計	252,871	247,879
資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	271	426
利益剰余金	58,141	61,919
自己株式	△56	△51
その他の資本の構成要素	7,592	8,144
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,615	73,105
非支配持分	1,203	1,442
資本合計	69,819	74,548
負債及び資本合計	322,691	322,427

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
継続事業		
売上収益	59,074	63,189
売上原価	33,070	34,307
売上総利益	26,003	28,881
販売費及び一般管理費	15,729	17,330
その他の収益	2,258	1,197
その他の費用	124	222
営業利益	12,408	12,525
金融収益	129	504
金融費用	328	588
持分法による投資損益	700	602
税引前四半期利益	12,910	13,044
法人所得税費用	4,196	3,927
継続事業からの四半期利益	8,713	9,117
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	4,859	—
四半期利益	13,572	9,117
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,100	8,827
非支配持分	472	290
四半期利益	13,572	9,117
親会社の所有者に帰属する継続事業から 生じた四半期利益	8,241	8,827
親会社の所有者に帰属する非継続事業から 生じた四半期利益	4,859	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,100	8,827
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)		
継続事業	53.89	57.75
非継続事業	31.78	—
合計	85.67	57.75
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		
継続事業	51.69	55.38
非継続事業	30.43	—
合計	82.12	55.38

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)
継続事業		
売上収益	30,722	32,513
売上原価	17,214	17,702
売上総利益	13,508	14,811
販売費及び一般管理費	8,001	8,871
その他の収益	1,046	864
その他の費用	38	19
営業利益	6,515	6,785
金融収益	91	271
金融費用	148	291
持分法による投資損益	419	288
税引前四半期利益	6,877	7,053
法人所得税費用	2,278	1,992
継続事業からの四半期利益	4,599	5,061
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	5,428	—
四半期利益	10,027	5,061
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,666	4,830
非支配持分	361	231
四半期利益	10,027	5,061
親会社の所有者に帰属する継続事業から 生じた四半期利益	4,238	4,830
親会社の所有者に帰属する非継続事業から 生じた四半期利益	5,428	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	9,666	4,830
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	27.72	31.60
非継続事業	35.51	—
合計	63.23	31.60
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	26.58	30.30
非継続事業	34.00	—
合計	60.59	30.30

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期利益	13,572	9,117
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	46	△1,149
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	4	14
項目合計	51	△1,134
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,171	1,483
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	197	91
項目合計	△2,973	1,575
その他の包括利益合計	△2,922	441
四半期包括利益	10,650	9,558
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,182	9,257
非支配持分	468	301
四半期包括利益	10,650	9,558

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)
四半期利益	10,027	5,061
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	8	31
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	4	7
項目合計	12	38
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△9,039	420
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	124	69
項目合計	△8,914	489
その他の包括利益合計	△8,901	528
四半期包括利益	1,126	5,590
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	764	5,360
非支配持分	361	229
四半期包括利益	1,126	5,590

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日 残高	2,667	—	41,570	△57	10,304	54,485	657	55,142
四半期利益	—	—	13,100	—	—	13,100	472	13,572
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,918	△2,918	△3	△2,922
四半期包括利益	—	—	13,100	—	△2,918	10,182	468	10,650
自己株式の処分	—	4	—	0	—	5	—	5
配当金	—	—	△4,436	—	—	△4,436	△49	△4,485
株式に基づく 報酬取引	—	135	—	—	56	192	—	192
その他	—	△0	△7	—	5	△2	△0	△3
所有者との取引額等 合計	—	139	△4,444	0	61	△4,241	△50	△4,291
2022年9月30日 残高	2,667	139	50,227	△56	7,448	60,425	1,076	61,501

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2023年4月1日 残高	2,667	271	58,141	△56	7,592	68,615	1,203	69,819
四半期利益	—	—	8,827	—	—	8,827	290	9,117
その他の包括利益	—	—	—	—	430	430	11	441
四半期包括利益	—	—	8,827	—	430	9,257	301	9,558
自己株式の処分	—	15	—	4	△19	0	—	0
配当金	—	—	△5,044	—	—	△5,044	△60	△5,105
株式に基づく 報酬取引	—	139	—	—	133	272	—	272
その他	—	—	△4	—	8	3	△1	2
所有者との取引額等 合計	—	155	△5,049	4	121	△4,767	△62	△4,829
2023年9月30日 残高	2,667	426	61,919	△51	8,144	73,105	1,442	74,548

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	12,910	13,044
非継続事業からの税引前四半期利益	10,191	—
減価償却費及び償却費	3,332	2,811
金融収益及び金融費用	△539	△506
持分法による投資損益(△は益)	△855	△602
固定資産売却損益(△は益)	△1,890	△921
関係会社株式売却益	△12,223	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	△622	△223
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△13,120	3,776
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,042	△190
その他	1,290	421
小計	2,515	17,608
利息及び配当金の受取額	451	616
利息の支払額	△308	△437
法人所得税の支払額	△651	△5,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,006	11,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△905	△942
有形固定資産の売却による収入	2,150	46
無形資産の取得による支出	△1,191	△776
投資不動産の取得による支出	△2,578	△3,968
投資不動産の売却による収入	3,610	3,139
投資有価証券の取得による支出	△39	△50
投資有価証券の売却による収入	18	176
貸付けによる支出	△6,753	△2,809
貸付金の回収による収入	9,591	33
子会社の売却による収入	6,932	—
その他	△333	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,500	△5,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,844	695
長期借入れによる収入	1,322	1,412
長期借入金の返済による支出	△13,890	△6,146
社債の償還による支出	△55	△181
自己株式の売却による収入	5	0
配当金の支払額	△4,434	△5,041
非支配持分への配当金の支払額	△49	△60
その他	△1,499	△1,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,757	△10,522
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,941	586
現金及び現金同等物の増加額	5,690	△3,249
現金及び現金同等物の期首残高	44,439	43,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,130	40,445

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、住宅分野とレジャー・ライフサポート分野の双方にまたがる企業福利厚生のアウトソーシングサービスを主力事業とし、その事業基盤を活かして賃貸管理事業や観光事業なども展開しております。

各事業の概要は下記のとおりです。

- リロケーション事業： 借上社宅管理業務アウトソーシングサービス、賃貸管理事業、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規定・処遇コンサルティング等
- 福利厚生事業： 福利厚生代行サービス、顧客特典代行サービス、住まいの駆け付けサービス等
- 観光事業： 別荘のタイムシェア事業、ホテル運営事業等

(2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	41,917	10,725	5,935	58,577
セグメント間の売上収益	103	131	24	259
計	42,021	10,856	5,960	58,837
セグメント利益又は損失(△)	7,863	4,742	1,553	14,159

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期連結損益計算書計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	496	59,074	—	59,074
セグメント間の売上収益	82	341	△341	—
計	578	59,416	△341	59,074
セグメント利益又は損失(△)	△81	14,078	△1,670	12,408

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション 事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	43,756	12,214	6,717	62,688
セグメント間の売上収益	92	170	33	297
計	43,849	12,385	6,751	62,985
セグメント利益又は 損失(△)	7,727	5,530	1,177	14,435

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	500	63,189	—	63,189
セグメント間の売上収益	94	392	△392	—
計	595	63,581	△392	63,189
セグメント利益又は 損失(△)	△116	14,319	△1,793	12,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

(子会社の売却)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会において、SIRVAグループ(SIRVA Holdings, Inc. とそのグループ会社の総称)を所有するGlobal Relocation and Moving Services, LP(以下、「GRMS」という。)と連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始について合意をすることを決議し、同年7月29日に取引が完了いたしました。

株式の売却により、支配を喪失した子会社の資産および負債の内訳は以下のとおりです。

(1) 子会社の売却による収入

(単位：百万円)	
対価	金額
受取対価	62,300
未収入金	△ 24,335
交換により取得したSIRVA Holdings, Inc. 優先株式(注)	△ 24,499
支配を喪失した子会社の現金及び現金同等物	△ 6,532
子会社の売却による収入	6,932

(注)株式交換により行われたため重要な非資金取引に該当します。

(2) 売却日における子会社の資産および負債

(単位：百万円)	
科目	金額
支配喪失時の資産の内訳	
流動資産	63,132
非流動資産	22,992
資産合計	86,125
支配喪失時の負債の内訳	
流動負債	61,973
非流動負債	4,477
負債合計	66,451

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(非継続事業)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会において、SIRVAグループ(SIRVA Holdings, Inc. とそのグループ会社の総称)を所有するGlobal Relocation and Moving Services, LP(以下、「GRMS」という。)と連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始について合意をすることを決議し、同年7月29日に取引が完了いたしました。そのため、前連結会計年度においてBGRS Limitedおよびグループ会社22社を非継続事業に分類しております。

損益は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
収益	30,777	—
費用	20,586	—
非継続事業からの税引前四半期利益	10,191	—
法人所得税費用(注)	5,332	—
非継続事業からの四半期利益	4,859	—

(注) 前第2四半期連結累計期間において、BGRSグループを譲渡したことによる売却益12,223百万円およびこれに係る法人所得税費用5,432百万円が含まれております。

キャッシュ・フローは、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,685	—
投資活動によるキャッシュ・フロー(注)	6,220	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,969	—
合計	△495	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローには、子会社の売却による収入6,932百万円が含まれております。